

「地域共生社会に必要な連携とは何か?」

【第2部】共生社会づくりに向けた連携の具体例

異業種連携による人を中心とした地域循環型 ふくし的就労

《赤い羽根福祉基金実施団体》

҈ӓ҇҉釜石市社会福祉協議会

地域福祉課長 菊池 亮

鉄とさかなの町

消滅可能性・・・

基幹産業へ人口減少へ東日本大震災へ





人が地域社会を支え◆◆地域社会が人を支える

釜石版地域包括ケアシステム《全世代・全対象型》

- ◆特徴 地域包括ケアシステムを構成する要素として、医療・介護・予防・生活支援・住まいに加え、復興という要素を加え、ハードの復興にとどまらない、ソフト面でのきめ細かなケアを構築。
- ◆目標 復興を起点とする持続可能な地域共生社会づくり
- ◆基盤「地域資源」、「多様性と連携」、「互酬」

地域包括ケアの6つの概念

介護 予防 住まい 復興 医療 生活支援 機能分担 健康づくり 見守り相談 被災地域の新しい経 在宅医療 啓発活動 配食、買い物 住まいの確保 済観念として、地産地 居宅・施設介護の充実 早期発見 交诵 牛活への配慮 消エネルギー創出、そ 牛きがい・やりがい活動 医療•介護連携 早期対応 住宅政策との れにかかわる人材の育 人材の確保・育成 悪化防止 就労、権利擁護 連携 成

4つの視点

自助 共助 公助



異分野で活動する団体が、社会的目標を共有し互いのウィークポイントを補い、活用しあいながら「互助」の関係を構築し、社会を支える

また、その価値が地域で循環し持続する仕組みが必要

(参考:釜石市地域包括ケア推進本部 2015.04)

釜石市の課題解決スキームはなぜ、林業×福祉(林福連携)であったのか。

林業におけるSWOT

Strength (強み)

- ・市内面積90%を誇る森林資源、運送コストの低減
- ・高速自動車網の接続点
- ・バイオマス発電

Weakness (弱み)

- ・人手不足
- ・業界全体の固着化
- ・雇用者の業務習熟度が必要となる産業の為、大幅 なコストの削減が難しい。

Opportunity(機会)

- ・環境分野、新エネルギー分野での事業の可能性
- ・SDGs2030アジェンダによる持続可能な開発目標 の採択
- ・国内企業のグリーンポンドへの関心の高まり (CSR・CSV)

Threat (脅威)

- ・輸入合板の流入、木材価格の低下による国産材の 生産低下
- ・治山者の高齢化による放置山の増加
- ・放置山による環境悪化、害獣の増加

福祉(社協)におけるSWOT

Strength (強み)

- ・福祉、生活課題を持つ、「その人」の理解
- ・社会福祉全体とのネットワーク
- ・公、民セクターとのネットワーク

Weakness (弱み)

- ・予防的な社会システムの脆弱化、家族の扶養能力の低下
- ・福祉の対象の拡大、具体的な課題解決の実践(不足)
- ・福祉、生活課題を持つ人の多様な働き方(社会参加)

Opportunity(機会)

- ・人生100年時代による元気高齢者の増加
- ・SDGs2030アジェンダによる持続可能な開発目標 の採択
- ・社会福祉法改正による属性、年齢にとらわれない 地域福祉活動の推進(方針)

Threat (脅威)

- ・人口減少
- ・公的セクターの縮小(税収、組織、サービス)
- ・民間セクターの縮小(社協経営基盤の脆弱化)

「ふせげ!!新3K(孤立・孤独・困窮)」 地域資源と福祉の連携による持続可能な課題解決フロー



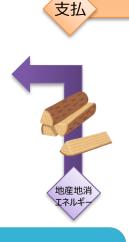
課題

安定した薪の購入 地産地消型の薪が欲しい

現状

遠距離から輸送費をかけて、 薪を購入

量販店(アウトドア)、薪ユーザー



提供

釜石地方森林組合

- ・ 単純作業員の減少
- ・ 正業職員の作業では売 価への転嫁率が高い為 加工作業が行えない

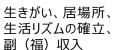


加工前原木の優先提供



提供

被災者、高齢者、障がい者、困窮者への生きがい就労プログラムの提供



実作業:薪割、バーク(樹皮)除去等



釜石市社会福祉協議会

福祉事業所などのへの情報提供、マッチング。 適切な人材確保 行政政策との共同歩調を創出

山林オーナー

- ・ 木材価格の減少による 切り出しの困難
- 放置林による災害などへの危惧



工賃

制度外プログラムの企画・実施 広範囲なアドバイザリーによる事業 評価、異業種連携の促進

課題

課題

持続可能性の確保

各団体の課題と開発メリット

	課 題	メリット
釜石市	・平成25年スマートコミュニティ基本計画の推進・オープンシティ戦略の推進・水害、林野火災などへの備え	・再生可能エネルギー大量導入への合目的 ・地域づくり戦略、ビジネス創出戦略への合目的 ・治山管理が進むことによる環境保全、防災機能の向上
DIYセンター(薪ユーザー)	・アウトドア、キャンプ、薪ストーブ需要に応じて、薪の安価で安 定的な供給元がない	・欠品状態をつくらない、需要に応える ・地産地消商品で地域貢献
釜石地方森林組合	・就労者の減少 ・木材価格の低下による賃金の圧迫 ・間伐材の収集などの単純作業所の減少	・正規職員給与よりも低い単価で働ける人材の確保・一般就労への期待 バイオマス発電用間伐材の供給を増やしたい。
山林地権者	・木材価格の低下 ・放置林や災害などの危惧(尾崎白浜火災H29.5)	・板材以外での木材活用による新規の収入 ・治山管理による防災 ・火災山林の利活用
釜石市社会福祉協議会	・高齢男性の生きがいや就労の確保 ・福祉領域外との連携 ・経済活動がしづらい環境がある	・復興に向けた福祉課題の解決 ・福祉を活かした地域開発事業の実績
高齢男性・グレーゾーンの方(被災者)	・就労先が見つからない、居場所が無い・お金が無い、閉じこもりがち	・補助的収入の確保と生活環境の改善 ・身体的・精神的衛生の向上
(一社)ゴジョる	・新規参入者であり、実績、信用、情報が無い。	・実績による信用度の向上、地域開発性、社会福祉との創発







釜石地方森林組合





3年目の実績と活動参加者の声、様子

	2021/4/1~9/30迄の成果	
総活動日数	141日 目標250日(56.4%)	
活動者登録数	32名(男性比率75%、最高齢84才、最年少36才)	
活動者延べ人 数	1,513名 目標2,000人(75.6%)	
平均支払月額 一人当たり	約3万円/月(目標値65%達成)	
総生産数	月 60 t (初年度:月1 t)	
販売取次 協力店舗数	市内6店 東北・関東130店舗	
生保受給者 若年無業者	2名 1名 (卒業⇒一般就労へ)	

「ペットボトルの蓋、開けれるようになったのよ」 (男70代半ば、被災者)

「朝飯食うようになった」(80代男性)

「スマホ?買った」(70代男性)

「筋肉ついだ」(片麻ひ歩行困難な男性50代) 「wワークで、薪もやります」 (同上)

「娘と会話が増えたよ」
(近所の女性高齢者、引きこもりの娘さんと参加)

「元気になった・・・」大病した男性70代

「かあちゃんが優しくなった」(男70代)

「昔の友達と飲みにいってきた」(Uターン、60代男)

税や保険料の滞納解消、 借金完済、 クレームが少なくなった(役所)



